

がんもんえんちえんろきょう

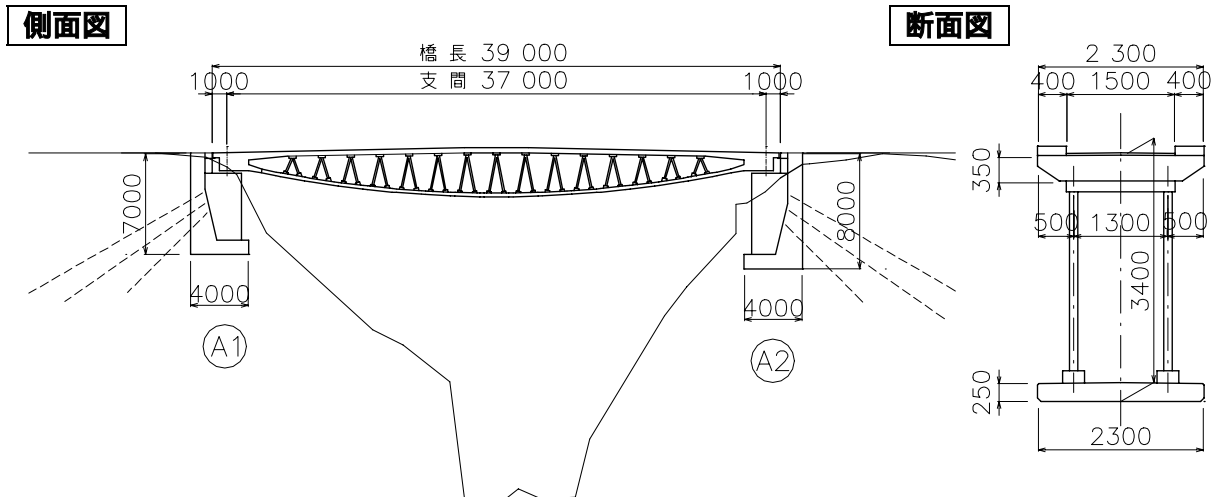
巖門園地園路橋



巖門園地園路橋は、能登半島の景勝地で国立公園に指定されている能登金剛に建設された、世界で初めてのPC曲弦トラス橋です。

架設は吊床版橋と同様に、橋台間に張り渡したPC鋼材によりセグメントを懸垂して、空中を送り出していく懸垂工法で行います。完成系ではグラウンドアンカーに頼らずに、安定を確保できる自碇構造となります。

一般図



橋梁諸元

工事名：巖門園地整備工事
 発注者：石川県
 設計者：㈱日本海コンサルタント
 位置：石川県羽咋郡富来町牛下地内
 橋格：歩道橋
 形式：PC曲弦トラス橋
 荷重：群集荷重
 橋長：39.0m（支間 37.0m）
 総幅員：2.3m（有効幅員 1.5m）
 架設工法：懸垂架設工法
 PC鋼材：下床版1次鋼材 SWPR7B 19S11.1（SEEE工法）
 下床版2次鋼材 SWPR7B 3S15.2（ディビダーク工法）
 上床版主鋼材 SWPR19 1S28.6（SM工法）



